

# (仮称)札幌市歴史的資産保存活用推進方針

## 第 2 回検討委員会

### 会議要旨

開催日：平成 29 年 9 月 21 日（木）

札幌市市民文化局文化部文化財課

## 1. 開会

### ○事務局

前回の第1回検討委員会は6月21日に開催されましたが、その後8月9日、29日にワーキングを開催し、方針項目素案等について意見をいただきました。また8月28日には歴史的建造物の所有・活用をされている方、ヘリテージマネージャー・コーディネーターの方による意見交換会を行い、歴史的資産の活用を担う立場から意見をいただきました。本日は、そのご報告と方針素案の項目立てについて意見をいただくことを中心に進めたいと思います。

## 2. ワーキング・意見交換会の結果発表

### ○事務局

#### 【資料-3 についての説明】

第1回ワーキング意見概要についてご説明します。

方針のスタンスについて意見が交わされました。所有者の方にとって、方針を見て「これは価値がある、活用してみようか」というようなガイドになるものが一番いいのではないかという意見がありました。

現状の課題対しては、行政ができること・できないこと・考えていることを網羅したいということ、また活用事例として市民や企業が主体となって保存活動をし、市はそれをバックアップするという大宰府の事例が紹介されました。

方針の目的についてですが、観光やまちづくりの前にまずは歴史的資産を守ることが大きな目的であり、そのためのストーリーをキーワードとしてまとめるのがよいという意見がありました。また、文化庁も保存がメインだったが活用の方にシフトしているという話がありました。

今後、方針に盛り込んでいくストーリーやテーマは大きく2～3点ほどを深く掘り下げる予定ですが、それ以外にも取り上げて作るべきであり、その際には時代区分だけではインパクトが薄いので、札幌市の成り立ちを深く掘り下げ、色んなまちの歴史を踏まえていくのがいいのではないかという意見がありました。例えば、札幌の10区に係るようなストーリーで、住んでいる人が「自分のはこれだ」と思えるようなものが必要ではないかという意見がありました。但し、最終的な目的は、地域の方が自分たちの歴史を考えて次の世代へ繋ぐことが地域の暮らしの豊かさにつながる、地域の幸せになることが重要という話がありました。

その他、検索についてや、活動団体の一覧を網羅するという意見もあり、また旧用途の分析が必要ということで、【資料-6】の巻末に付けましたので後ほどご覧ください。

続きまして、第2回ワーキング結果概要です。

方針の項目については、市民の方がまず「見つけ」て、市民の目線で掘り起こしていくことが大切ではないかという意見が出ました。方針の内容については、世界遺産の「5C」を意識して組み立てられないかという意見があり、これが世界的な文化財の方向性になっているという説明がありました。そのほか、博物館・資料館的な役割を持つ人や機関が必要ではないかという意見もありました。

体制については、一番の課題は、所有者や活用に興味のある人をサポートする人材が不足していること。学芸員、相談員としてのヘリテージマネージャー・コーディネーターの活用、所有者同士の交流会、コミュニケーションの場などを行政のバックアップでできないか、そのような仕組み作りも必要、などの意見がありました。

具体的なツールの作成については、歴史的資産の情報提供が少ないため、住民の方々に気づきを促すようなツールを制作できないかと言うことで、パンフレットや街歩きが楽しめるような説明看板が有効ではないか、また各区のホームページにまちの歴史やなりたちが掲載されているのでそちらと連携できないかという話が出ました。

#### 【資料-4についての説明】

続きまして、「歴史的資産活用推進事業に関わる意見交換会 実施報告書」をご覧ください。所有者・活用者の方々とヘリテージマネージャー／コーディネーターの方々でそれぞれ開催しました。事前にアンケートを取っており、この結果を踏まえまして、P4にまとめを掲載しております。

#### ○往田委員

所有者・活用者の意見交換会に8人の方が来ていただいています。とても歴史的建造物に対して非常に高い評価をされている印象を受けました。この方々は比較的理理解のある方々が参加しているという印象です。実際には、もう少しネガティブな意見を持っている人が多いのではないかと。この結果だけをそのまま受け止めるのは問題があると思います。

#### ○角委員長

メンバーはどうやって集めたのですか？

#### ○事務局

案内送付は40～50名で都合のつく8名の参加でしたが、意識の高い方であるとは思いません。

#### ○角委員長

往田委員はアンケートのまとめについても気にしていますよね。

#### ○往田委員

意識の高い方ばかり参加しているので、札幌全体となると違うのではないのでしょうか。その辺を少し割り引いて考えないと、全体がうまくいかないのではないかと思います。

○角委員長

これは次のステップにつなげるためにやっているアンケートなので、ネガティブな意見ばかり出てくるとつらいが、確かに往田委員が言うようにそれなりの意識の高い方々が集まってくれました。しかし、その中にも課題がいろいろあるという捉え方もできますよね。

○川上委員

歴史的資産所有者が8人、ヘリテージマネージャーが11人。事前アンケートはこれ以外にも回答者がいますよね。全体像としてはどれくらいの回答があったのですか？

○事務局

依頼をかけた時点でアンケートも同封しているので対象者としては40～50名です。回答を返して下さった方のほとんどがご出席いただき、数名が欠席されましたので回答は10くらいです。

### 3. 方針素案の構成および概要について

○事務局

#### 【資料-5 と概要版イメージについての説明】

資料-5「方針項目素案」は、第1回検討委員会、ワーキング、意見交換会の内容を踏まえて作成しています。章・項目・内容での構成としていますが、章・項目は方針完成時の目次のイメージとしてお考えください。〈概要版イメージ〉は方針完成時に出す予定の、一般向けにわかりやすい概要版の完成イメージとしてご参考までに。資料-5の1と概要版イメージの1が対応するようになっています。

2章-2「札幌市の歴史的資産の特徴」では、まとまりやストーリーを作る流れになります。まとまりを作る理由は、文化財以外のあまり知られていないような物も関連づけることで特徴が見えてくる、より価値が高まるということを考えてのことです。

その作成方法は色々な手法があるので、その検討を行いたいと思います。たくさんストーリーができと思いますが、方針では2～3のストーリーを出し、その後、市民の皆さんとワークショップなどを通して増やしていくことを検討しています。3は「現状の課題」で、意見交換などを踏まえて大きく3つに分けました。4の「歴史的資産の保存・活用方針」は〈基本的な方向性〉と〈主な取り組み〉に分けて記載しています。このあたりは委員の先生方から意見をいただき、膨らませていきたいと考えております。

○角委員長

内容の根幹に関わることなのでここでみなさんから意見をいただきたいと思います。

○金山委員

素案の4に方針、「見つける、共有する、保存活用の推進、人材育成、協働」とありますが、総花的に全部やることになると、特に力を入れる部分を決めなければ、結局だれもやらないのではないかと。最初のワーキングのときにスタンスはどうなのかと聞きましたが、素案として札幌市が考えているものがないと議論ができません。

○事務局

項目の濃淡は必要かと思いますが、まずは見つけること、知ることができていないとその先はできないかと。そして共有することに重きが置かれるのではないかと考えています。

○金山委員

明確に優先順位を付けた方がいいのではないですか。全部出すと使えなくなる気がする。この方針案が見えてこない先ほどのアンケートにあった所有者の方が困っていることに対して、何を基準に解決するのが見えません。総花的に書いて使える物はそこから使おうということなら、結局前とあまり変わらないのではないかという気がします。

○事務局

順番を付けると考えてもよろしいですか？

○金山委員

優先順位です。共有が一番の課題なら、それをどうするのか。ここに明確に「保存活用」とうたっているので、実際に所有者の方が抱えていることが解決にならないのなら意味がないのではないかと。方針ができることによって解決に近づくのが重要です。

○角委員長

方針策定の目的は保存。でも保存だけでは、宝があるだけで何らかの形で活用・展開を考えなくてはならない。例えば、観光の素材、地域づくりの素材、いろいろあると思う。重み付けというのなかなか難しい。つまり、ケースバイケース。総花的ではなくて、それに対応できるような体制、窓口などが方針の中に明示されることで救われるのかな。次の段階にどうやって行くのかは千差万別でなかなか一つのサンプルはない。確かに金山委員が懸念されているように総花的になると、進むべき流れが薄くなってしまふ。難しいが本当はフローチャートみたいなのがあって、悩んでいる人がイエスかノーで選んで、解決策に結び付くのが一番。今の意見の中で羽深委員はどうですか？

○羽深委員

結局この委員会は、札幌としてこうしますということを最初に言うわけですか？ じゃ、そのスタンスとしてどうするか。保存活用という一つの単語になると難しい。保存だけのものと、保存はされていて活用を考えればいいものと、保存・活用の両方をやらないとならないもの、大きく3つくらいに大別できるが、ひと言ではくくれない。市が積極的に関わっていきたいのであれば市の補助金で何とかしますという話までしないと絵に描いた餅

で終わってしまうのではないのでしょうか。

○角委員長

ある程度具体的にこれがあることによって次の努力をしますというのがあればいい。所有者にとって、将来的な希望が持てるものならば、そこまで頑張ろうというのがあっていい。例えば、ファウンデーションみたいなのがあって多少なりともお金が借りられるとか。

○事務局

おっしゃるとおり絵に描いた餅にならないようにしたいと考えています。方針なので具体的なアクションの手前の考え方を整理した上で次のアクションにつながればと思います。

○前田委員

札幌市が歴史的価値ある物をすべて責任持って保存し、お金を膨大に投入しますと言うことは申し上げられません。しかし、歴史的価値のある物をここで守っていかなければ永久になくなってしまいます。この課題認識は少なくとも札幌市の中で着実に増えていることは確かです。一方で、それは札幌市だけでは限界があるということも明らかで、みなさんに課題として出ささせていただくというのが大きな手段でもあります。

資金の援助についても公費を出すのか、あるいは民間のみなさんの力を集約できる仕組みを作るのか。規制の緩和についても納得感、安全性と保護するやりやすさは常に拮抗するところもあるので、みんなでルールを決めようというのが行政の役割ではないかと思っています。庁内議論を深めるにあたり先生たちの意見をいただきながら、現実起きていくこと、財源がなければこういう結果になるということを明らかにすることもこの場でみなさんにお力を借りたいということでもあります。

○角委員長

今の情勢では公費を使うというのはほぼあり得ない。公費には限界があり、私的な物に公費を投じることには問題もある。しかし、前田委員が言われたように、札幌市として覚悟を表明するという機会だという気もしています。

○金山委員

市民としては行政がお金を出して保存をすべきとは思っていません。行政ができることは2つ。お金を出すか、制度を変えるか。今まではお金を出してきました。今回、方針と名付けていることはひとつしかなく、公費ではできない、民間と一緒にやるか、民間が主体でやるか、それを言い切ることでただ一点だけです。どういう方針でやっていくのかという一点。もう行政では保存しきれない、民間と一緒にやるか、民間にやってもらうか。それを制度面でバックアップすることだけ。たくさん書くと、ぼやけると思います。それだけで伝わるとし、幾分かは先ほどの困っている方々も「じゃあ」ということになる。骨子はそれでいいのではないか。その仕組みをどうすればいいのかという議論はあると思います。

#### ○川上委員

お金のことは一番重要で、建物とか形のある物を残すというのはお金も必要。保存するのも活用するのもみな「人」。人をどうやってその気にさせるか。さらに増やして行くか。文化財の保存活用はそういう意識を持った人たちを育て、リピーターを広げていく、仕組みと組織的なものを含めた人を教育すること。その辺に一番力点を置くべきです。

札幌市で今までに実施してきた調査があり、マップづくりもそのひとつ。しかしまだまだ不足している。建物だけではなく、ほかにもいろいろな資料や歴史的な物がある。それを徹底して調べるような民間団体やグループを作り、次々に新しい物を作ったり、新しい情報を集めたりしながら、将来にわたって活用できるような人間的な組織やグループにすることが必要です。保存に対する緊急度というデータも不足していると思います。

#### ○往田委員

活用の方針5項目を見たときに思ったのは、正直、「今さら？」という気がしました。札幌市で今までやっていなかったことではありません。札幌市、各区、学校教育、民間でもこれまで取り組んできたことです。見つけた人がそこで止まっていて、情報発信・共有をしていない。札幌市がせっかく知り得た情報を活用していないのではないのでしょうか。札幌市が、活用できる仕組みまでを提供していない、私はそこなのではないかと思います。

人材育成に関しても知識という面での人材はかなりいます。歴史的な知識があるだけではなく、実際にまちづくり、建築方面での専門家もいる。専門家の方々がまたちょっと角度を変えるだけで別な活動もできます。緊急性を要するのが保存活用。実際に困っている方がいらっしゃるし、一年経つ毎に建物は弱ってくる。人も年をとり、どう相続するかも問題。これを「見つける」「共有する」の後に持ってくるのは実際、生ぬるいのでは？

#### ○羽深委員

札幌市のスタンスを強烈にアピールして欲しい。文化庁に「札幌市は文化財指定や重要文化財が増えてないので、何しているのか？」と言われる。なぜ増えていないかという、お金がかかるから。文化部としてこうだと言い、札幌市の他部署、市民だけじゃなく文化庁も視野に入れて動かないといけないのではないか。

もう一つ、文化財にはお金がかかるが、ある程度税金をつぎ込まないと無理。その辺も文化財を積極的に指定できない、税金もつぎ込めない、そんな人が市民に向かって方針を示しても信じられない。文化部としても示さないといけないのではないか。

#### ○事務局

全国的に比べたら指定文化財は少ないというのが現状です。バラバラになっているものを文化部として知らないというか、札幌市として把握していない。少なくとも今回400件は市として一定の価値のある資産を把握しました。今後指定文化財を増やしたいというときには、候補が400あるというところから始められるのは一歩進んだと思います。

○角委員長

歴史文化基本構想を参考にしながらやっていったプロセスがあったと思うが、もし、これだけやるとしたら、歴史文化基本構想のようなものとしてやっていく方向もあるのかな。それだと文化庁と接点を持って行かないとならないし、国の予算も投入できるかもしれない。せっかくエネルギーをかけてやるなら、「札幌市もやったね」というものにつなげたい。

○事務局

そういう流れが全国的にも進んでいることがわかっているので、考えたいと思います。

歴史文化基本構想の考え方は意識しないといけないと思っています。今日、お配りした資料にもありますが、文化庁が「基本計画」として歴史文化基本構想から一歩進もうとしています。文化財保護法の改正が見えてきています。そうしますと、札幌市がさらに取り残される状況になりかねない。歴史文化基本構想にのるのも一案です。そうなるともう1年必要で、来年度策定ということになり、今すぐにはお答えできませんが。

○角委員長

少々脱線しましたが、分厚いものはいらぬというのは分かります。一般の人にとって見やすくわかりやすいのが大切で、さらにせっかくやるなら次のステップにつながる方が賢いかな。それは事務局の方で考えてください。

気になったのは「ぶち知識人」という言葉ですが。

○事務局

あまりに専門家だと話しづらいという意見があったため、仮で軟らかい表現にしてみました。言葉がこなれていないのは承知しているので、一旦はイメージとして受け取っていただければ。

○往田委員

アドバイザーとか相談相手という言葉の方がいいのでは。専門家だとハードルが高いのなら、専門家の方にも勉強していただくのも必要なのかなと。専門家じゃないとできないこともあるからみなさん相談したいのだと思います。専門家の方に一般の方に通じる言葉を使ってもらおうというような部分も変えていかないとならないのではないのでしょうか。

○川上委員

文化庁の資料を見ていたのですが、今までは文化財に指定して保存するという以外に、活用の方針がなかったような。それでは今の時代、世界的にも世界遺産とかいろんな動きがあって時代遅れだというのを感じ、人を育てていかないとダメだということに気がついたのではないかと思います。札幌市としてどうするかということですが、歴史文化基本構想までは行かなくてもある程度具体的なことを含みながら目指す指針、理想的なことをこの会議では出すべきだと思います。お金の面はできないかもしれないが、理想像をある程度示さないと現状を変えていくことはできません。



○角委員長

歴史文化基本構想や基本計画を拝見すると、僕たちがやろうとしていることと重なっていますね。

○金山委員

「ぷち知識人」のいる窓口が必要ということがワーキングで出ました。窓口を作るだけでも大きく変わるはず。それは市でやるのか、民間がやるのか。そういう人材が必要。ヘリテージマネージャーやコーディネーターにお願いするということもできなくはない。

○角委員長

札幌の中で分散している要素にリンクを貼れるようになるだけでもずいぶん違う。行政は人が変わると限りなくゼロに近いポテンシャルになるが、こういうものを残すことで次の人がそれをベースにしてさらなる展開ができるという枠組み作りという意味もある。

資料の5にあったような項目でまとめようとするときに、空間的なまとまり、ストーリーが必要。区にまたがっている、生活に密着したものなど、キーワードは限りなく出てくるでしょう。2ないし3の代表例を決めるのは難しい。開拓使とか大物が入っているようなものはだれが見ても分かるが、もう少し地域に根ざしたものをうまくグルーピングすることができればいい。そのくらいのレベルでもうちの町内にあるよというレベルのものが入っていたらいい。自分の足元にあるようなものでもまとめられたらいいなと思います。

○羽深委員

400くらい調べたものを地図に落としていくと、どの時代なのかが見えてくる。そこからストーリーを作っていくこともできます。例えば西岡のリンゴ倉庫は、豊平区、清田区などリンゴ畑があったところは大体想像がつく。今あるものを活用することもできます。

○往田委員

〈概要版イメージ〉の2-1にあるマップは誤解を招く書き方ではないでしょうか。中心部は古く、郊外は新しいという表記は間違い。郊外は住宅地を造る中で古いものが壊されていった経緯、都心部は逆に壊すことができなかった事情などを無視しないで欲しい。

○事務局

修正します。

○川上委員

この後、具体的なキーワードやストーリーを考えていくことになるが、目に見える形で想像できるようにしないと、どこのまちとも同じになる。札幌市はこれだという案を出し、具体的にストーリーをいくつか考えて、それを提示していただければと思います。

○角委員長

素案の中に抜けがなければ次のステップに行けると思います。また、どこに力点を置くかという意味では多少濃淡を付けましょう。ワークショップで見えたのは、本当にみなさ

んが困っているのは相談する場所。そのシステムの枠組みができると、進展は違うかなと。

○金山委員

案だけでもいいかもしれないですよ。行政でやる案、民間でやる案、両方でやる案など。

○羽深委員

もっと市と道の連携をうまくやってほしいなと思います。

○川上委員

札幌市の指定文化財がこんなに少ないのはなぜなのでしょう。増やすことによって一般の人が気づいていく。ひとつの方針としては札幌市がもっと指定文化財を増やすという方針をこの会議で提言してもいいのではないのでしょうか。数が多ければいいというものではないが、建造物が現状 3 つしかないというのは少ない。できるところから次々、毎年 1 つや 2 つずつくらいは指定してもらいたいという方針もここで出せるのではないか。

○金山委員

特別なことじゃないのだということが示せれば、割と身近にあるという気づきになるので、提言するのはいいメッセージになると思います。

○往田委員

そこにはストーリーが欠かせないですね。

○角委員長

まとめるときは当然、取捨選択するが今はできるだけ出していきましょう。

○川上委員

指定文化財は普通、国の指定が少なく、その下に都道府県、その下にたくさん市町村の指定があるというピラミッド型になっている。しかし、札幌市は逆。もっと増やせるのではないのでしょうか。まだまだあるので、その気になれば指定は増やせる。その街の姿勢が出てくる。市としてはこれだけあるぞと意気込みを数でも示せるような気がします。

○角委員長

本日の委員会が終わると実務的な作業に入ります。事務局から何か聞いておくことは？

○川上委員

札幌市史はとても立派ですが、気軽には読めない。簡単なものだと内容が薄い。ちょうどいいのがない。歴史文化的な発想で構わないが、ちょうどいいテキストというのもどこかに入りたいと思います。ガイドブックではなくてテキストという感じの物を入れたい。

○角委員長

札幌のまちの成り立ち、たくさん村があっただんだん札幌に吸収されて最終的には区になるわけです。子どもの頃に歴史を習いましたが、今はそういうのはなくなってきている。

○川上委員

小学校の副読本も歴史のことは少しになってきている。札幌市史のコンパクト版みたい

な、中学生くらいが読めるようなものがないかなと思います。

○角委員長

学ぶための文献の一覧もあるといいかもしれないですね。

○往田委員

札幌文庫も特に前半部になってくると、昭和の時代に書かれた物で、もう時代を感じさせる物になっていますよね。貴重な体験を語り継ぐ人生の先輩方がお亡くなりになっていくことにも危機感を感じます。

○角委員長

この方針よりも地域の歴史を語り継ぐ人がだんだんいなくなる。札幌文庫の企画はきちんと項目立ててやっているのはすごいと思う。何かしらどこかでその後じゃないが積み重ねていくシステムもやっていかないと、札幌市史を改定しようと思うとそれなりに大変なことですよ。札幌市の場合は公文書館などもあってしっかりしているけれども。

○川上委員

公文書館には私もお世話になっています。以前は人がいたのですが、今は解散している。行政の中でもそういう人を次々に作って行ってほしい。やはり、人だと思います。

○角委員長

いろんな課題がありそうだよね。歴史的な資産や資源、人の資源もすごくあると思う。今までの話の中では基本的な項目についての抜けはないと思うので進めましょう。それ以外の課題が山積み。少し整理するともう少しいろんな課題が見える気がします。

○羽深委員

札幌市史のコンパクト版、僕も大賛成。最新のものをまとめるとか、やり方はあるような気がする。札幌はこんなにいいところだというのが伝わればいい。

○角委員長

次の委員会までに具体的な作業を、これが大変だと思いますけど、途中でなにかあったら各委員の先生に聞いて進めていただければと思います。

#### 4. 閉会

次回開催予定を事務局より案内し、閉会。